

—総括表—

◆ 事業計画 「いつも、ず~っと、みんなほかほか。ちょっと寄りたくなるプラザ」

地域の現状と今後の方向性

下和泉地域ケアプラザは、主に下記の2地区を担当しています。

- ・下和泉地区
→買い物先や病院が近隣にないことから、『移動に関する支援』が地域の課題となっています。
- ・富士見が丘地区
→一斉に居住が始まったエリアがあり、『地域全体での高齢化への対応』が求められています。

★そのため、平成31年度は『移動に対する支援』と『地域全体での高齢化への対応』を主軸に事業を展開します。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の生活課題解決と社会参加を促進するために地域住民と下記に取り組みます。 ・移動スーパーほかほかマートの継続支援 ・移動支援による社会参加、交流の機会の充実 （泉サポートプロジェクトによる送迎支援、泉区アドバイザー派遣事業による「下和泉の移動を考える会」）
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域課題を抽出し、住民と共有するために下記に取り組みます。 ・住民支えあいマップの実施
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域住民へ認知症について啓発するために下記に取り組みます。 ・認知症カフェほかほかサロンでの認知症当事者と地域住民との交流 ・認知症サポーター養成講座の開催 ・サロン連絡会でのスリーA講座の実施
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	男性の孤立化防止、社会参加を見据えて下記に取り組みます。 ・子育て世代の取り込み（父親向け交流講座） ・シニア世代の仲間づくり
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	職員が気軽に相談しあえるよう職場環境を整え、風通しのよい職場風土を醸成するため、下記に取り組みます。 ・職員全体会議、常勤職員会議、部門連携会議、部門会議の実施 ・毎日の朝礼・終礼の実施

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

○風通しのよい職場風土の醸成に取り組み、その連携を基に、特に下記について成果があがっています。
 ・ほかほかマート実行委員会で検討を重ね、集客数が増えています。また、下和泉地区の移動を考える会で『おでかけマップ』作成に着手できました。高齢者食事会の移動支援も開始し、これまで参加できなかった方が初めて参加できています。
 ・住民支え合いマップで地域傾向を住民と共有できたため、今後は見守りと異変早期発見機能を構築していきます。
 ・スリーAを用いて地域人材を育成し、実践につながるようサポートし、認知症になっても支え合える視点を強化できました。
 ・親子向け講座の講師を、地域の子育て世代のボランティアに依頼することができ、新たな人材の獲得につながりました。その後、認知症カフェにも協力してもらうなど、部門を超えた情報提供で、ボランティアの活躍の場を増やしています。

区からのコメント

(地域活動交流)
 ・男性や若い世代をターゲットとした各種講座を開催するなど、多様な世代を考慮した事業が展開できています。また、子育て支援関係や防災関係の事業等で、地域の人材活用を効果的に行っています。
 (地域包括支援センター)
 ・8箇所のサロンや元気づくりステーションで人材育成講座を実施し、実践につながっています。初期集中支援チームの活用や、協力医にキャラバンメイト連絡会への参加を呼びかける等、認知症の早期発見・対応に向けた動きが顕著です。
 ・住民支え合いマップも、地域の中で広がりを見せています。地域での見守り体制の更なる発展を期待します。
 (生活支援体制整備事業)
 ・ケアマネジャーや民生委員等への情報発信を積極的に行っています。ほかほかマートを利用することで、シルバーカーの組み立て、財布からお金を出す、といった動作の練習になるなど、計画に位置付けるメリットを事例として広く共有することで、利用者が増えることを期待しています。
 ・「お出かけを考える会」については、関係者間での目的意識の共有が進んできており、車以外の支援など発想が広がってきています。誰もが行きたい場所(ときめきポイント)に行けるまちを目指して検討が進むよう、今後の展開に期待しています。